

# スマートフォンリモコン編

- 本書は製品を安全にご使用いただくための注意事項が書かれています。ご使用になる前に必ずお読みください。
- ご使用になる間は、本書を製品の近くに保管していつでもご活用できるようにしてください。

このたびは、「IP OFFICE」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

※本書では、IP OFFICE を「主装置」と記載しています。

## ご注意

- 本製品は、電話番号に代表される、個人情報の保存または保持可能な商品です。設置工事、保守、廃棄、譲渡および返却される際は、本製品内に保存または保持された個人情報を消去する必要があります。
- ご使用の際は、本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、日本国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。  
This equipment is designed for in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故の元になりますので、絶対におやめください。
- 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
- 本書の内容、外観については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複製することは禁止されています。
- Microsoft、Internet Explorer、および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Android、Google Chrome は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Safari は、米国 Apple Inc. の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

## 免責事項

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の喪失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 電話サービスを利用することによる金銭上の損害、および逸失利益について第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

# 安全にお使いいただくために

## 必ずお読みください

本書には、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 表示の説明

表示	説明
 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

※1： 重傷とは失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2： 傷害とは治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3： 物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

### 図記号の説明

表示	説明
 <b>禁止</b>	禁止(してはいけないこと)を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は絶対に行わないでください。
 <b>強制</b>	強制(必ずすること)を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は必ず実施してください。

## ⚠ 危険

 <b>強制</b>	<p>電池パックはプラス⊕・マイナス⊖の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、プラス⊕、マイナス⊖の向きを確かめてください</p> <p>電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>電池パックを単体では充電しないでください</p> <p>電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>電池パックは、指定の電話機以外には使用しないでください</p> <p>電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。</p>
 <b>禁止</b>  <b>分解禁止</b>	<p>電池パックを分解・改造しないでください</p> <p>電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。</p>
 <b>強制</b>	<p>電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください</p> <p>電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火の中に投入したり、加熱しない</li> <li>・直接はんだ付けしない</li> <li>・プラス⊕・マイナス⊖を針金などの金属類で接触させない</li> <li>・水・雨水・海水・薬品などにつけたり、ぬらさない</li> <li>・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない</li> <li>・針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない</li> </ul>
 <b>強制</b>	<p>電池パック内部の液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください</p>
 <b>強制</b>	<p>不要になったリチウムイオン電池を廃棄するときは、ショート防止のために、電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例や規則に従うようにしてください</p> <p>電極がショートすると、破裂、発火の原因となります。</p>

 **警告**

 <b>禁止</b>	<p>取付位置を変更しないでください 火災・感電・けがの原因となります。 配線工事を行うには資格が必要です。販売店にご相談ください。</p>
 <b>禁止</b>   <b>電源プラグを抜く</b>	<p>主装置の通風孔や電話機の開口部などから、金属類を入れないでください 火災・感電・故障の原因となります。万一、金属類が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。</p>
 <b>禁止</b>   <b>ぬれ手禁止</b>	<p>主装置をぬれた手で操作したり、ぬれた布でふかないでください 感電の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>   <b>電源プラグを抜く</b>	<p>万一、内部に水などが入った場合、そのまま使用しないでください すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>   <b>電源プラグを抜く</b>	<p>主装置、電話機の上や近くに液体の入った容器(花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・小さな金属など)を置かないでください 液体がこぼれて内部に入ると、火災・感電・故障の原因となります。万一、液体が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。</p>
 <b>禁止</b>   <b>接触禁止</b>	<p>雷が鳴り出したら、主装置・電源コードなどに触れないでください 感電の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>   <b>電源プラグを抜く</b>	<p>万一、煙が出ている、異常音がする、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用しないでください すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。なお、お客様による修理は危険ですからおやめください。</p>
 <b>禁止</b>	<p>一般のゴミとして放置しないでください 火災・けがの原因となります。 廃棄するときは、販売店にご相談ください。</p>
 <b>禁止</b>	<p>AC100V ± 10V の商用電源以外は、絶対に使用しないでください 火災・感電・故障の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>内線・外線の各端子をショートさせないでください 火災・故障の原因となります。</p>
 <b>強制</b>	<p>電源プラグを電源コンセントへ直接接続してください 延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。</p>

 **警告**

 <b>禁止</b>	<p>テーブルタップや分岐コンセント・分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください 火災・過熱の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>   <b>電源プラグを抜く</b>	<p>主装置、電話機を傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに置かないでください 落下・転倒により、けがの原因となります。万一、落下・転倒により破損したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>   <b>ぬれ手禁止</b>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください 感電・けがの原因となります。</p>
 <b>禁止</b>   <b>火気禁止</b>	<p>主装置、電話機に火の気を近づけたり、加熱しないでください 鉛蓄電池(バッテリー)が液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。</p>
 <b>禁止</b>   <b>電源プラグを抜く</b>	<p>電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合は(芯線の露出、断線など)主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。</p>
 <b>禁止</b>	<p>工事者以外は、装置の蓋などを開けないでください 感電、故障の原因となります。</p>
 <b>強制</b>	<p>電源プラグは電源コンセントの奥までしっかり差し込んでください 電源プラグの刃に、金属などが触れると火災・感電・故障の原因となります。</p>
 <b>強制</b>	<p>電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着している場合は、よくふいてください 火災の原因となります。</p>
 <b>強制</b>   <b>電源プラグを抜く</b>	<p>主装置に鉛蓄電池(バッテリー)を使用する場合、寿命は(使用頻度にもよりますが)設置後2～3年(長寿命バッテリーの場合は6年)です。交換時期になりましたら、販売店にまとめて交換をご依頼ください 寿命が過ぎた鉛蓄電池(バッテリー)を使用し続けるとバッテリー内部の液もれの原因となります。万一、バッテリー内部からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれることがあります。また、バッテリー内部の液もれが発生したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>機器で指定されていないバッテリーは使用しないでください。また、新しいバッテリーと古いバッテリーと混ぜての使用はしないでください 電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。</p>
 <b>禁止</b>   <b>分解禁止</b>	<p>分解・改造・修理しないでください 火災・感電・故障の原因となります。 電話機の改造は法令違反となります。故障のときは、販売店に修理をご依頼ください。</p>

 **警告**

 <b>強制</b>  <b>電源プラグを抜く</b>	<p>万一異物が、本装置および電話機の内部に入った場合は、まず本装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。</p>
 <b>強制</b>	<p>主装置の内部の点検・修理は、販売店に依頼してください</p>
 <b>禁止</b>	<p>歩行中に電話機を操作したり見たりしないでください 転倒・交通事故などの原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください 火災・故障の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>引火性ガスが発生する場所では、電話機を絶対に充電しないでください 火災の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>  <b>電源プラグを抜く</b>	<p>万一、充電器が落下したり、破損した場合は、そのまま使用しないでください 必ず AC アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
 <b>禁止</b>	<p>本装置を医療用電気機器（ペースメーカーなど）の近くで使用しないでください 電波により医療用電気機器に影響を与えることがあります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>高精度な制御や、微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください 電子機器が誤動作するなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。 (ご注意ください電子機器の例：補聴器・医療用電子機器・ペースメーカー・火災報知機・自動ドア・自動制御機器など)</p>
 <b>禁止</b>	<p>充電器の開口部から金属類を入れないでください 万一、内部に異物が入った場合は、すぐに AC アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>充電端子を金属でショートさせないでください 火災・故障の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>充電端子に水滴のついたまま充電しないでください 火災・故障の原因となります。</p>
 <b>強制</b>	<p>電池パックが液もれしたり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください</p>
 <b>強制</b>	<p>所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、すぐに充電をやめて、お買い求めの販売店にご連絡ください</p>
 <b>禁止</b>  <b>ぬれ手禁止</b>	<p>ぬれた手で電池パックを交換したり、ぬれた手で充電器の AC アダプタを抜き差ししないでください 感電の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>付属の AC アダプタ、充電器以外を使用しないでください 火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。</p>
 <b>強制</b>	<p>AC アダプタ、充電器は指定の電源コンセントに接続してください それ以外の電源コンセントに接続すると火災・感電・故障の原因となります。</p>

 <b>警告</b>	
 <b>強制</b>	電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください
 <b>禁止</b>	LAN ポートや PC ポートに接続したネットワークケーブルを電源コンセント、アナログ電話回線、デジタル電話回線 (ISDN)、PBX デジタル電話回線には接続しないでください 火災・感電・故障の原因となります。

 <b>注意</b>	
 <b>強制</b>	<b>必ずアースを接続してください</b> アース接続をしないで使用すると感電・故障の原因となることがあります。
 <b>強制</b>	<b>主装置や電話機を壁掛けに変更するときは、販売店にご相談ください</b> 配線工事を行うには資格が必要です。また、主装置や電話機の重みに耐える専用壁掛け金具を使用して適正な取り付けが必要です。
 <b>禁止</b>	<b>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください</b> 電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。
 <b>禁止</b>	<b>振動・衝撃の多い場所に置かないでください</b> 火災・感電・故障の原因となります。また落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 <b>禁止</b>	<b>主装置や電話機を上下逆さまの状態を設置しないでください</b> 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 <b>禁止</b>	<b>主装置、電話機の上に乗ったり、座ったりしないでください</b> けがや故障の原因となることがあります。
 <b>禁止</b>	<b>直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください</b> 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
 <b>禁止</b>	<b>湿気やほこりの多い場所、潮風、腐食性ガスのかかる場所、化学反応を起こすような場所 (化学実験室など) には置かないでください</b> 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 <b>禁止</b>	<b>風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください</b> 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 <b>禁止</b>	<b>調理台のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、ほこりが多い場所に置かないでください</b> 火災・感電・故障の原因となることがあります。
 <b>禁止</b>	<b>電源コードおよび電話機コードを熱器具に近づけないでください</b> コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
 <b>禁止</b>	<b>落下させるほどの強い衝撃を与えないでください</b>
 <b>強制</b>	<b>移動させる場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、回線コードや電話機コードなど外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください</b> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 <b>禁止</b>	<b>主装置や電話機の開口部をふさがらないでください</b> 開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

 <b>禁止</b>	<p>電気雑音を発生するものに近い場所に置かないでください 通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります。</p> <p>&lt;電気雑音の原因としては&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車やオートバイが近くを通る場合</li> <li>・放送局や無線局(アマチュア無線、CB 無線など)の近くで使用する場合</li> <li>・テレビ・ラジオ・蛍光灯・OA 機器・電子レンジ・電気コタツなどの近くで使用する場合</li> <li>・高周波溶接機・高周波ミシン・電気溶接機・ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合</li> </ul>
 <b>禁止</b>	<p>強い磁界の発生源の近くに設置しないでください 火災・感電・故障の原因となることがあります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>火のそばや炎天下などの高温の場所で、充電はしないでください 高温になると危険を防止する保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。</p>
 <b>強制</b>	<p>電池パックは、事故防止のため、小さいお子様の手の届かないところに保管してください 誤飲、感電の原因となります。</p>
 <b>強制</b>	<p>長時間で使用にならないときは、安全のため必ず充電器の AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください 発火・故障の原因となります。 主装置については、常時電源を「ON」の状態にしておいても問題ありません。</p>
 <b>強制</b>	<p>AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず AC アダプタまたは電源プラグを持って抜いてください 電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災・感電・断線の原因となることがあります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>コードレス電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください 故障の原因となります。</p>
 <b>注意</b>	<p>電話機等の底面には、ゴム製のスベリ止めを使用しています。ゴムとの接触面がまれに変色することがあります</p>
 <b>注意</b>	<p>コードレス電話機のアンテナを誤って目にささないようにしてください</p>
 <b>注意</b>	<p>アンテナなどの突起物を目や口などに入れないようにしてください。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください</p>
 <b>強制</b>	<p>充電器をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください 感電の原因となることがあります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>充電器の上に指輪、ネックレスなどの金属類を置かないでください 金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。</p>
 <b>強制</b>	<p>充電は周囲温度 5℃～35℃の範囲で行ってください 正常な充電ができなかったり、故障の原因となります。</p>
 <b>強制</b>	<p>お手入れの際は安全のために、本装置の電源スイッチを切ってから電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください</p>

 <b>注意</b>	
 <b>強制</b>	水滴がついた場合は、乾いた布でふき取ってください 本装置および電話機の内部に水滴が入ると、火災・故障の原因となることがあります。
 <b>禁止</b>	表面が熱に弱い家具の上などの表面が熱に弱い場所には、本装置および電話機を置かないでください 家具等の表面が変色・変形する場合があります。
 <b>禁止</b>	本装置および電話機の上に手をついたり、ものを載せないでください 火災や故障の原因となります。
 <b>禁止</b>	ぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールおよびシリコン系クリーナーなどでふかないでください 本装置の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。
 <b>禁止</b>	受話器用カールコードやモジュラープラグで差し込まれている電話機コードを強く引っ張らないでください 故障の原因となることがあります。

## IP 回線の特性について

- 下記のような場合には、IP 電話サービスの通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
  - ・ WAN(ブロードバンド)回線の接続状態によって十分な帯域がとれない場合
  - ・ インターネット上で十分な帯域がとれない場合
  - ・ 主装置に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- 相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。
  - ・ ADSL 回線をご利用の場合は、下りの伝送速度よりも上りの伝送速度のほうが低いいため、通話中にインターネット上のサーバへ大きなファイルを送信したり、他拠点との間でファイルを転送することは避けてください。また、LAN 内に、インターネットにアクセスできる Web サーバ、FTP サーバなどを設置しないでください。

## SIP 電話機および IP 多機能電話機の特性について

- 下記のような場合には、電話機の通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
  - ・ LAN の接続状態によって、十分な帯域がとれない場合
  - ・ LAN に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- 相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。

## 取扱上のお願ひ / 主装置、電話機、他

停電などの外的要因、あるいは本装置の故障、誤動作、不具合によって通信などの機会を逸したために生じた逸失利益等の金銭的損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください

本装置を人命や、危害に直接的または、間接的に高い安全性が必要とされる環境下では使用しないでください

本装置に登録された内容は故障・修理のときに消失する場合があります

テレビ、ラジオ、無線機、電子レンジ、インバータ形蛍光灯などの磁気、電波を発生する場所や違法無線を受ける場所に設置した場合、ノイズや誤動作を引き起こすことがあります

放送局の近くや違法 CB 無線など、強い電波を受ける場所では通話中に雑音が入ることがあります。通話に支障をきたす場合には、販売店にご相談ください

別売品の停電用電源を接続している場合は、電源スイッチが「ON」のまま、電源プラグを抜いたり、配電盤などの電源を切らないでください

バッテリーが放電してしまい、停電時に動作しなくなります。また、バッテリーの寿命を縮める原因となります。

コードレス電話機を設置するときは、親機から約 3m 以上離してください  
親機にあまり近い場合は、コードレス電話機が正常に動作しないことがあります。

デジタルコードレス電話機(DC)の側面に取り付けられたゴムキャップを取り外さないでください  
ゴムキャップがないまま、ぬれた手で使用すると、故障や感電の原因となります。

コードレス電話機は、防水対応ではありません

寒い戸外から急に暖かい室内にコードレス電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、コードレス電話機内部に水滴(結露)がつくことがあります。結露が生じたときは電源を切って、水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください

結露したまま使用すると、故障の原因となります。

コードレス電話機の通話は盗聴されにくくなっていますが、電波を利用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合があります。この点を十分に留意して使用してください

## 目次

安全にお使いいただくために ..... i

## お使いになる前に xi

取扱説明書の見かた ..... xi

本書の構成 ..... xii

対象読者 ..... xii

## 第 1 章 概要 1

1-1 スマートフォンリモコンとは ..... 1

1-2 スマートフォンリモコンでできること ..... 2

●スマートフォンリモコンでできる操作 ..... 2

●動作環境について ..... 2

## 第 2 章 基本操作 3

2-1 スマートフォンリモコンの起動と終了 ..... 3

●スマートフォンリモコンを起動する(ログイン) ..... 3

●スマートフォンリモコンを終了する(ログアウト) ..... 5

2-2 スマートフォンリモコンの利用 ..... 6

●スマートフォンリモコン画面の各部の名称と使いかた ..... 6

●ユーザ種別について ..... 7

## 第 3 章 機能設定 8

3-1 各種機能のモードを切り替える ..... 8

●オートダイヤルボタンの機能のモードを切り替える ..... 9

●スマートフォンリモコンでモード切替できる機能について ..... 12

3-2 各種機能を設定する ..... 19

留守番設定 ..... 19

●留守番機能のガイダンスを設定 / 変更する ..... 19

●ガイダンスの設定と留守番動作 ..... 24

外線自動転送の設定(外線転送) ..... 25

●転送先情報を登録する(相手先情報設定) ..... 25

●外線自動転送モード 1 ~ 4 を登録する(転送先設定) ..... 30

## 索引 35

# お使いになる前に

## 取扱説明書の見かた

この取扱説明書は次のフォーマットをベースに記載してあります。

### 見出し

機能を示す見出し  
タイトルです。

### 操作対象ユーザ

操作対象のユーザアイコン  
を掲載しています(➡P.7)。

### 機能概要

機能の内容を簡単に  
説明しています。

### 操作手順説明

操作や表示内容を  
簡単に説明してい  
ます。

### MEMO

関連項目や注意点  
を説明しています。

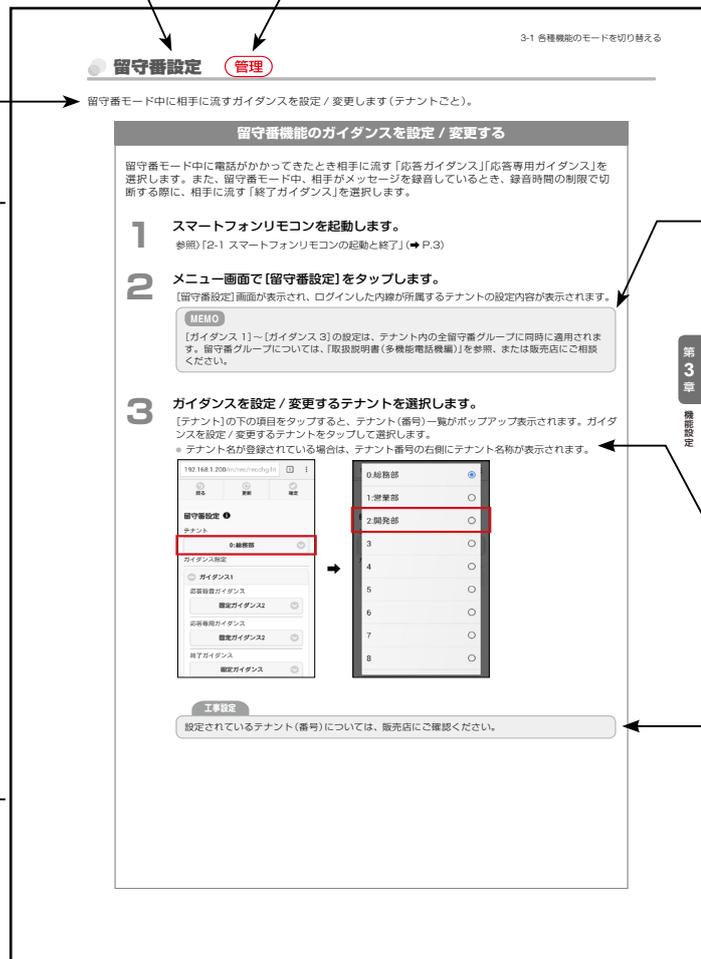
### 章タイトル

### 補足説明

操作手順の補足  
的な内容を説明  
しています。

### 工事設定

工事者による設  
定が必要なため、  
販売店にご相談  
いただきたいこ  
とを説明してい  
ます。



# 本書の構成

本書では、スマートフォン上のブラウザベースのツール「スマートフォンリモコン」を利用して設定できる機能や登録できる情報について、概要と操作方法をメインに説明します。機能の詳細情報については、『取扱説明書(多機能電話機編)』および『取扱説明書(Web 設定編)』を合わせて参照してください。

## お使いになる前に (本章)

本書の見かたと構成についてまとめてあります。

### 第 1 章 概要

「スマートフォンリモコン」を利用する上で事前に設定しておくことや、動作環境などについて説明しています。

### 第 2 章 基本操作

「スマートフォンリモコン」の起動と終了、操作画面の見かたなど、基本的な操作について説明しています。

### 第 3 章 機能設定

「スマートフォンリモコン」を利用して設定できる機能の概要と説明、各機能の設定方法について説明しています。

# 対象読者

本書は、以下のようなネットワーク機器やシステムの基本的な概念や用語、使いかたについてすでに知識のある方を対象としています。

- 構内交換機 (PBX)、多機能電話機
- インターネット、有線 LAN、無線 LAN、VPN 接続、Wi-Fi 接続
- スマートフォン、Android、iOS
- Chrome、Safari

#### MEMO

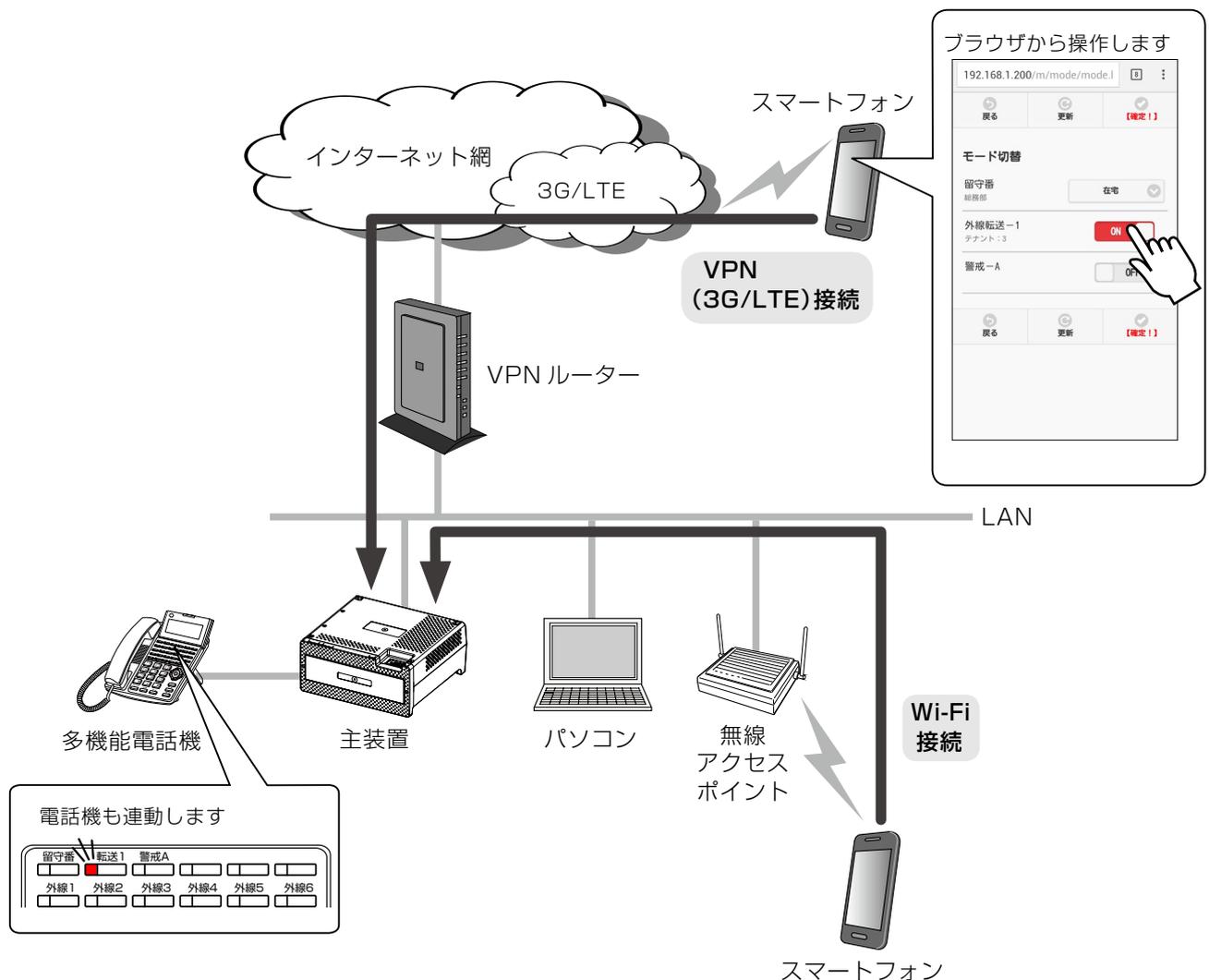
- スマートフォンの操作や用語については、ご利用のスマートフォンに添付されている取扱説明書を参照してください。
- PBX(主装置)や多機能電話機については、主装置に添付されている『取扱説明書(多機能電話機編)』または『取扱説明書(Web 設定編)』を参照してください。

# 第1章 概要

## 1-1 スマートフォンリモコンとは

「スマートフォンリモコン」とは、ネットワークに接続されたスマートフォンから主装置にアクセス（Web ブラウザでアクセス）することで、内線電話機の各機能のモード切替や設定を行うことができるツールです。ネットワーク接続できるスマートフォンを持ち歩くだけで、外出先からも社内からも利用することができます。

### ■スマートフォンリモコンのしくみ



#### 工事設定

「スマートフォンリモコン」を利用するには、ご使用のスマートフォンが、主装置の属するネットワークにVPN (Virtual Private Network) 接続または Wi-Fi 接続できるように設定しておく必要があります。スマートフォンのVPN (3G/LTE) や Wi-Fi の設定については、販売店またはネットワーク管理者にご相談ください。

# 1-2 スマートフォンリモコンでできること

## スマートフォンリモコンでできる操作

スマートフォンリモコンでは、以下の機能を実行できます。

機能名	説明	参照先	
モード切替	内線電話機のオートダイヤルボタンに割り付けられている各機能のモードを切り替えます。	第3章の「3-1 各種機能のモードを切り替える」(▶ P.8)	
データ設定	留守番設定	留守番モード時の各種ガイダンスを設定 / 変更します。	第3章の「留守番設定」(▶ P.19)
	外線転送設定	外線自動転送モード時の転送先の電話番号や転送動作を設定 / 変更します。	第3章の「外線自動転送の設定(外線転送)」(▶ P.25)

### MEMO

パスワード変更、ボイスメール、オートダイヤル登録、タイマ連動などについては、**Web 設定**または電話機のサービスメニューで設定を行ってください。(『取扱説明書(Web 設定編)』および『取扱説明書(多機能電話機編)』参照)。

## 動作環境について

スマートフォンリモコンを利用する前に、以下の動作環境をご確認ください。

対応 OS \ 対応ブラウザ	Chrome (ver.43.0.2357 以上)	Safari (ver.8 以上)
Android(ver.5.0 以上)	○	×
iOS(ver.8.3 以上)	○	○

### MEMO

- 通信環境によっては、画面表示できなかつたり、画面表示までに時間がかかることがあります。
- 本書では、Android (ver.5.0) および Chrome (ver.43.0.2357) を使用した操作について説明しています。

## 第2章 基本操作

「スマートフォンリモコン」は、スマートフォン上の Web ブラウザから、本システムの主装置にログインすることで利用できます。

ここでは、スマートフォンリモコンの起動(ログイン)から終了(ログアウト)までの基本操作について説明します。また、スマートフォンリモコンの画面の各部の名称と使いかた、ログイン時に選択されるユーザ種別と機能の違いについても説明します。

### 2-1 スマートフォンリモコンの起動と終了

#### スマートフォンリモコンを起動する(ログイン)

##### 工事設定

あらかじめ、ご使用のスマートフォンが、主装置の属するネットワークに VPN 接続または Wi-Fi 接続できるように設定しておく必要があります。スマートフォンでの VPN や Wi-Fi の利用については、ネットワーク管理者にご相談ください。

スマートフォンから、本システムの主装置の属するネットワークに VPN 接続または Wi-Fi 接続したあと、スマートフォンリモコンを起動し、主装置にログインします。

- 1 スマートフォンで、主装置の属するネットワークに接続します。
- 2 スマートフォンのブラウザを起動します。  
参照》「動作環境について」(→ P.2)
- 3 ブラウザのアドレスバーに、スマートフォンアクセス用のアドレス「主装置本体の LAN 側 IP アドレス /m」を入力し、ソフトキーボードの[実行]をタップします。

例えば、主装置の IP アドレスが 192.168.1.200 の場合は、「http://192.168.1.200/m」と入力します。

A screenshot of a mobile browser's address bar. The text '192.168.1.200/m' is entered in the address field. To the right of the text are two icons: a square icon with a magnifying glass and a vertical ellipsis icon.

ログイン画面が表示されます。

##### MEMO

このログインページをブックマークに登録しておくとう便利です。スマートフォンのブラウザでのブックマーク登録については、ご利用のスマートフォンの取扱説明書を参照してください。

## 4 ログイン情報を入力し、[ログイン]をタップします。

### <入力するログイン情報>

- 内線番号**    ご自分の内線番号を入力します。
- ここで入力する内線番号の種類によってユーザ種別（管理ユーザまたは一般ユーザ）が変わります（「ユーザ種別について」（➡ P.7）を参照）。
- パスワード**    パスワードを半角で入力します。
- 1～8桁までの半角英数字を入力できます。
  - 初期設定では、すべての内線に「0000」が設定されています。

#### MEMO

- 一般ユーザとしてログインする場合は、あらかじめ管理ユーザにパスワードを確認してください。
- ログイン時のパスワードは **Web 設定** と共有です。
- パスワードは定期的に変更してください。パスワードは **Web 設定** を使用して変更できます。一般ユーザの場合はご自分のパスワードを、管理ユーザの場合は全内線のパスワードを変更できます。
- Web 設定** の操作については、『取扱説明書 (Web 設定編)』を参照してください。

スマートフォンリモコンが起動し、**メニュー画面**が表示されます。

メニュー画面は、ログイン時のユーザ種別によって、表示される内容が異なります。メニュー画面には各ユーザが利用できる機能のみが表示されます。

#### <管理ユーザの場合>

#### <一般ユーザの場合>

## スマートフォンリモコンを終了する(ログアウト)

スマートフォンリモコンからログアウトしたあと、ブラウザを閉じて終了します。

### 1 操作画面([モード切替]画面など)が表示されている場合は、[戻る]ボタンをタップします。

メニュー画面に戻ります。

### 2 メニュー画面で[ログアウト]ボタンをタップします。



スマートフォンリモコンからログアウトして、ログイン画面が表示されます。

### 3 ログイン画面が表示されているブラウザを閉じます。

ブラウザが閉じ、スマートフォンリモコンが終了します。

# 2-2 スマートフォンリモコンの利用

## スマートフォンリモコン画面の各部の名称と使いかた

スマートフォンリモコンの画面の各部の名称と使いかたは以下のとおりです。各部の名称は、ユーザ種別にかかわらず共通です。

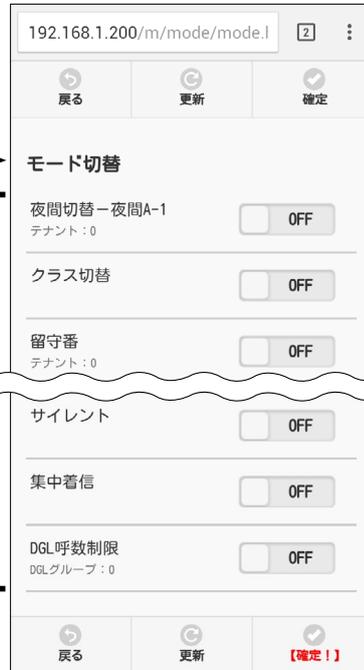
※ [モード切替] 画面と [相手先情報設定] 画面を例に説明します。

### 画面タイトル

メニュー画面で選択した機能名が表示されます。

### 設定領域

メニュー画面で選択した機能の設定項目が表示されます。



### ボタン領域

[戻る] [更新] のようなブラウザのボタンと、設定内容を確定する [確定] ボタンが表示されます。

	メニュー画面に戻ります。
	ページがリロードされます。
	①入力した情報が設定されます。 ②設定の可否がポップアップされます。 ③変更された設定を反映した画面が表示されます。

※画面で設定を変更したり値を入力すると、赤字で【確定!】と表示され、【確定】ボタンのタップが促されます。

### MEMO

- プルダウンボタン(▼)をタップすると、選択肢のリストがポップアップ表示されます。
- [+](⊕) ボタンをタップすると、アコーディオンメニュー(開閉式のメニュー)が開きます。  
[-](⊖) ボタンをタップするとアコーディオンメニューが閉じます。

### ヘルプボタン

①をタップすると、操作のポップアップヒントが表示されます。

### プルダウンボタン

▼をタップすると、選択肢のリストがポップアップ表示されます。



## ユーザ種別について

ユーザ種別は、ログインする際の内線番号によって異なります。  
本書では、ユーザ種別を以下のように定義・表現しています。

管理ユーザ	システム管理電話機に指定された内線番号でログインするユーザ
一般ユーザ	システム管理電話機以外の内線番号でログインするユーザ

### ■ユーザ種別とメニュー画面および利用できる機能

「スマートフォンリモコン」で利用できる機能はユーザ種別によって異なります。  
ログイン後のメニュー画面には利用できる機能のみが表示されます。

<管理ユーザの場合>



<一般ユーザの場合>



### ■対象ユーザの識別方法について

本書では、操作可能 / 不可がひと目でわかるよう、機能ごとに対象のユーザアイコンを掲載しています。

ユーザアイコン	内容
	管理ユーザが設定できる機能です。
	一般ユーザが設定できる機能です。

# 第3章 機能設定

本章では、スマートフォンリモコンで設定 / 操作できる機能と、それぞれの操作手順について説明します。スマートフォンリモコンでは、内線電話機のオートダイヤルボタンに割り付けられている各種機能のモード切替、留守番モード時の各種ガイダンスの設定 / 変更、外線自動転送モード時の転送先の電話番号や転送動作の設定 / 変更をすることができます。

## MEMO

- 設定 / 操作できる機能は、ログイン時のユーザ種別（一般ユーザ / 管理ユーザ）によって異なります。ユーザ種別については、「ユーザ種別について」(→ P.7)を参照してください。
- 電話機のサービスメニュー、**Web 設定**、別のスマートフォンリモコンなどから同時に設定操作を行った場合は、あとに行われた設定操作が優先して反映されます。

## 3-1 各種機能のモードを切り替える

管理

一般

スマートフォンリモコンでは、ログインした内線電話機のオートダイヤルボタンに割り付けられている各種機能のモードを切り替えることができます。

ここでは、スマートフォンリモコンでモード切替できる以下の機能の切替操作と機能の概要について説明します。

### ■ スマートフォンリモコンでモード切替できる機能

トグルスイッチでオン / オフを切り替えられる機能と、ポップアップ表示される選択項目を選択してモードを切り替えられる機能があります((※)の機能がポップアップ表示)。

- 夜間切替（ワンタッチ切替あり / ワンタッチ切替なし (※)）
- クラス切替
- 留守番（設定に従う方式 / ユーザ選択方式 (※)）
- 着信拒否切替 (※)
- 不在 (※)
- 外線転送
- いらっしゃいまセンサ
- サイレント
- 子機サイレント
- 集中着信
- DGL 呼数制限
- 警戒（セーフティモードをセット (ON) にする / セーフティモードを解除 (OFF) にする (※)）

各機能の概要説明については、「スマートフォンリモコンでモード切替できる機能について」(→ P.12)を参照してください。

## MEMO

- スマートフォンリモコンでの操作は、ログインした内線の電話機に割り付けられているオートダイヤルボタンの機能が対象です。スマートフォンリモコンを使用する前に、内線電話機のオートダイヤルボタンに各機能を割り付けてください。
- オートダイヤルボタンへの機能の割り付けは **Web 設定**または電話機のサービスメニューで行います。『取扱説明書 (Web 設定編)』または『取扱説明書 (多機能電話機編)』を参照してください。
- ログインした内線電話機が使用中（通話中やメニュー操作中など）の場合、スマートフォンリモコンからモードを切り替えることはできません。

## オートダイヤルボタンの機能のモードを切り替える

ここでは、スマートフォンリモコンを使って、内線電話機のオートダイヤルボタンに割り付けられている機能のモードを切り替える操作について説明します。

### 1 スマートフォンリモコンを起動します。

参照)「2-1 スマートフォンリモコンの起動と終了」(→P.3)

### 2 メニュー画面で[モード切替]をタップします。

<管理ユーザの場合>

<一般ユーザの場合>



[モード切替]画面が表示され、ログインした内線電話機の設定内容が表示されます。



< Web 設定のオートダイヤル登録画面 >

**オートダイヤル**

電話機のオートダイヤルボタン又はボタンランプユニットにワンタッチダイヤル、ファンクション、電話帳ワンタッチ、内線番号、メールボックス番号などの割り付け設定を行います。  
各オート番号をクリックし設定画面を表示してください。  
(\*)は必須設定項目です。

内線番号(\*) 10 選択 (半角数字1~4桁)

25	26	27	28	29	30
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	自己保留
19	20	21	22	23	24
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
13	14	15	16	17	18
留守番	メールボックス	外線転送	警戒	未登録	未登録
7	8	9	10	11	12
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
1	2	3	4	5	6
外線専用線	外線専用線	外線専用線	外線専用線	外線専用線	外線専用線

#### MEMO

- [モード切替]画面のスイッチは、ログインした内線電話機で[モード切替]対象機能が割り付けられたオートダイヤルボタンの番号順に表示されます。上の画面例は、オートダイヤルボタンのファンクション番号(F13～F16)に以下の機能が割り付けられたときのものです。

F13	留守番(テナント番号:00(総務部)、留守番動作指定:ユーザ選択方式)
F14	メールボックス
F15	外線転送(外線転送モード:1、テナント番号:03)
F16	警戒(セーフティグループ:警戒A)

つづく →

## MEMO

- 設定不足などによりモード切替できない機能のスイッチはグレー表示されます。
- オートダイヤルボタン(モード切替スイッチ)にテナント番号が割り付けられている場合、「テナント:0」のように表示されます。また、テナント名称が登録されている場合は、テナント番号の代わりにテナント名称が表示されます。
- ログインした内線電話機のオートダイヤルボタンに、モード切替の対象となる機能が1つも割り付けられていない場合は、「変更対象のモードが割り付けられていません。」というメッセージが表示され、「モード切替」画面は表示されません。この機能を使用する前に、内線電話機のオートダイヤルボタンにモード切替の対象機能を割り付けてください。

### 3 変更対象の機能のスイッチをタップしてモードを切り替えます。

- スイッチをタップしただけでモード(オン/オフ)を切り替えられる機能(➡P.12)の場合は、スイッチ(トグルスイッチ)をタップして、オン/オフを切り替えたあと、**手順4**へ進みます。



- スイッチをタップすると選択項目がポップアップ表示される機能(➡P.12)の場合は、スイッチ(プルダウンボタン)をタップして、ポップアップメニューから項目を選択したあと、**手順4**へ進みます。



## 4 変更対象のモードの切り替えが完了したら、[確定] ボタンをタップします。



### MEMO

変更したモード切替の内容を反映させるためには、必ず [確定] ボタンを押してください。

## 5 確認メッセージ(「設定しました」)が表示されたら、[OK] ボタンをタップします。



選択した機能のモード切替設定が反映されます。

- 「設定に失敗しました」というメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをタップしたあと、通信状態を確認して、問題がなければもう1度、手順3から操作を行ってください。

## 6 [戻る] ボタンをタップして、メニュー画面に戻ります。

### MEMO

スマートフォンリモコンからオートダイヤルボタンの機能のモードを切り替えると、対応する電話機のオートダイヤルボタンのランプが点灯 / 点滅 / 消灯します。ランプのつきかたについては、『取扱説明書(多機能電話機編)』を参照してください。

## スマートフォンリモコンでモード切替できる機能について

スマートフォンリモコンでは、ログインした内線電話機のオートダイヤルボタンに割り付けられている以下の機能のモードを切り替えられます。

ここでは、各機能の機能概要と設定対象、およびスマートフォンリモコンのモード切替スイッチをタップしたときの操作(トグルスイッチまたはポップアップ表示)について説明します。

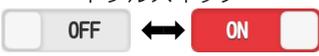
### MEMO

- スマートフォンリモコンを利用する前に、オートダイヤルボタンに各機能を割り付けておく必要があります。
- オートダイヤルボタンへの機能の割り付けは **Web 設定** または電話機のサービスメニューで行います。『取扱説明書 (Web 設定編)』または『取扱説明書 (多機能電話機編)』を参照してください。
- 各機能の動作は、あらかじめ設定しておく必要があります。以下の表の「参照先」に記載のある各取扱説明書を参照して、設定を確認してください。

機能名	説明		
<b>夜間切替</b> (昼夜切替)  機能種別 No.: 05 付加情報 1: テナント番号: 00 ~ 99 付加情報 2: ワンタッチ切替: 1: なし 2: 夜間 A-1 3: 夜間 A-2 4: 夜間 A-3 5: 夜間 B (1 が「ワンタッチ切替なし」 2 ~ 5 が「ワンタッチ切替あり」)	<b>機能概要</b>  <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>工事設定</b>            この機能を利用するには、あらかじめ昼夜モードごとに着信先の設定・切替などの設定が必要です (工事設定)。販売店にご相談ください。         </div>	5 種類のモード(昼夜モード)を切り替えることで、昼休みや夜間などの特定の時間帯に、着信先を切り替えたり、着信音を鳴らす電話機 / 鳴らさない電話機を指定することができる機能です。 昼夜モードには、「昼間」「夜間 A-1」「夜間 A-2」「夜間 A-3」「夜間 B」の 5 種類のモードがあります。	
		<b>設定対象</b> オートダイヤルに登録されているテナントの「昼夜モード」を切り替えます。	
	<b>操作</b>	オートダイヤルボタンに登録されているワンタッチ切替(付加情報 2)の値によって異なります。	<「ワンタッチ切替なし」の場合> ポップアップ表示 
		<「ワンタッチ切替あり」の場合> トグルスイッチ 	オートダイヤルの付加情報 2 に登録されている昼夜モードのオン / オフをトグルスイッチで切り替えます。
<b>参照先</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『取扱説明書 (多機能電話機編)』 - 「3-8 便利な機能設定」 - 「時間帯により着信形式を切り替える (夜間モード切替)」</li> <li>『取扱説明書 (Web 設定編)』</li> </ul>		

機能名	説明	
クラス切替  機能種別 No.: 06 付加情報: なし	<b>機能概要</b>	<p>内線ごとに設定されているサービスクラスを切り替えて、発着信利用規制を行う機能です。例えば、利用者や利用時間帯によって、共有の電話機からの外線発信などを規制したい場合に利用します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; background-color: #ccc; border-radius: 5px; display: inline-block;">工事設定</p> </div> <p>この機能を利用するには、あらかじめサービスクラスやクラス切替の設定が必要です(工事設定)。販売店にご相談ください。</p>
	<b>設定対象</b>	<p>ログインした内線が所属するテナントの「クラス切替モード」を切り替えます。</p>
	<b>操作</b>	<p style="text-align: center;">トグルスイッチ</p> <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> OFF ↔ <input checked="" type="checkbox"/> ON         </div> <p>設定されている2つのサービスクラスをトグルスイッチで切り替えます。オンにするとテナント内の内線サービスクラスが切り替わります。オフすると従来のサービスクラスに戻ります。</p>
留守番  機能種別 No.: 10 付加情報 1: テナント番号: 00 ~ 99 付加情報 2: 留守番動作指定 1: 設定に従う 2: ユーザ選択方式	<b>機能概要</b>	<p>留守番機能とは、外線 / 専用線からの着信に自動応答して、応答ガイダンスを流したあと、発信者にメッセージを録音してもらうことができる機能です。</p> <p>留守番ボタンでは、留守番機能のオン / オフと応答ガイダンスの種類を切り替えることができます。</p>
	<b>設定対象</b>	<p>オートダイヤルに登録されているテナントの「留守番モード」を切り替えます。</p>
	<b>操作</b>	<p>オートダイヤルボタンに登録されている動作指定(付加情報 2)により異なります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">&lt;「ユーザ選択方式」の場合&gt; ポップアップ表示</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">&lt;「設定に従う」の場合&gt; トグルスイッチ</p> <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> OFF ↔ <input checked="" type="checkbox"/> ON         </div> </div> </div> <p>留守番機能のオン / オフをトグルスイッチで切り替えます。</p> <p>留守番機能をオンにした場合の動作は、留守番グループに指定されている留守番動作に従います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>留守番グループの留守番動作の指定は <b>Web 設定</b>で行います。</li> </ul> <p>ポップアップ表示される数種類の留守番モードから選択します。表示される項目は、設定されているガイダンスパターン(ガイダンス 1 ~ 3)の内容により異なります。</p> <p>※ガイダンス 1 ~ 3 の設定については、「留守番設定」(➡ P.19)を参照してください。</p> <p><b>選択項目:</b>        [在宅]、[留守録 / ガイダンス 1] ~ [留守録 / ガイダンス 3]、[お知らせ / ガイダンス 1] ~ [お知らせ / ガイダンス 3]</p>
	<b>参照先</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『取扱説明書(多機能電話機編)』 - 「第5章 ボイスメールの使いかた」 - 「5-3 基本的な使いかた」 - 「留守番機能」</li> <li>『取扱説明書(多機能電話機編)』 - 「3-7 外出先からの便利な機能」 - 「外出先から留守番電話機能を利用する(留守リモコン)」</li> <li>『取扱説明書(Web 設定編)』</li> </ul>

機能名	説明	
着信拒否切替  機能種別 No.:11 付加情報 1: テナント番号:00 ~ 99 付加情報 2:なし	<b>機能概要</b>	<p>着信拒否機能は、あらかじめ迷惑電話として登録されている電話番号から電話がかかってきた場合や、非通知で電話がかかってきた場合に着信を拒否することができる機能です。</p> <p>着信拒否切替ボタンでは、迷惑電話・非通知電話のそれぞれの着信を拒否する/しないモードに切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>迷惑電話の電話番号は、内線電話機のサービスメニューから、登録、変更、削除することができます。</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; background-color: #ccc; margin: 0;">工事設定</p> <p>この機能を利用するには、電話会社が提供する番号表示サービスの契約と工事設定が必要です。また、非通知拒否モードを利用するには、工事設定が必要です。販売店にご相談ください。</p> </div>
	<b>設定対象</b>	オートダイヤルに登録されているテナントの「着信拒否切替モード」を切り替えます。
	<b>操作</b>	<p style="text-align: center;">ポップアップ表示</p>  <p>ポップアップ表示される着信拒否モードから選択します。</p> <p><b>選択項目:</b>            [拒否モードOFF]、[非通知拒否モード]、[迷惑電話拒否モード]、[非通知&amp;迷惑電話拒否モード]</p>
不在  機能種別 No.:12 付加情報:なし	<b>機能概要</b>	<p>不在機能とは、席を外しているときに個別着信があると、あらかじめ設定した転送先に転送することができる機能です。また、相手の電話機に、登録しておいた不在理由を表示することができます。</p> <p>不在ボタンでは、在席 / 離席(不在)の切り替えと、「外出中」などの不在理由の選択を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不在時の着信の転送先(不在転送設定)は、電話機のサービスメニューまたは <b>Web 設定</b> から設定します。</li> </ul>
	<b>設定対象</b>	ログインした内線電話機の「不在モード」を切り替えます。

機能名	説明	
不在 (つづき)	操作	<p style="text-align: center;">ポップアップ表示</p>  <p>ポップアップ表示される項目（[在席]、または不在理由一覧）から選択します。</p> <p><b>選択項目：</b> [在席]、[外出中]、[会議中]、[来客中]、[食事中]、[出張中]、[休暇中]、[帰宅]、[直帰]、[直行直帰]</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><b>MEMO</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示される不在理由の名称は、ログインした内線ごとに設定されています。</li> <li>● 不在理由の名称は、電話機のサービスメニューまたは <b>Web 設定</b> で内線ごとに編集することができます。</li> </ul> </div>
外線転送 (外線転送 1～外線転送 4)  機能種別 No.: 38 付加情報 1: 外線転送モード: 1～4 付加情報 2: テナント番号 00～99	機能概要    設定対象   操作   参照先	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」－「不在時にかかってきた電話を転送する（不在転送）」－「不在理由を編集する」</li> <li>● 『取扱説明書（Web 設定編）』－「各種転送の設定（電話機の各種転送）」－「不在転送の利用設定および動作設定をする（不在転送）」－「<span style="background-color: black; color: white; padding: 0 2px;">■</span>不在転送の転送理由を変更する（不在理由設定）」</li> <li>● 『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-7 外出先からの便利な機能」－「外出先から設定を変更する（転送リモコン）」</li> </ul> <p>外線転送機能とは、外線からの一般着信時に、あらかじめ設定した転送先に自動的に転送することができる機能です。</p> <p>外線転送ボタンでは、ボタンに登録されている外線転送モード 1～4 のオン/オフを切り替えることで、転送先を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 外線転送モード 1～4 の設定については、「外線自動転送の設定（外線転送）」（→ P.25）を参照してください。</li> </ul> <p>オートダイヤルに登録されているテナントの「外線転送モード」を切り替えます。</p> <p style="text-align: center;">トグルスイッチ</p>  <p>オートダイヤルに登録されている外線自動転送モード(1～4)のオン/オフをトグルスイッチで切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-5 電話に応答できないときの便利な機能」－「外線からの着信を自動で転送する（外線自動転送）」</li> <li>● 『取扱説明書（Web 設定編）』</li> <li>● 『取扱説明書（多機能電話機編）』－「3-7 外出先からの便利な機能」－「外出先から設定を変更する（転送リモコン）」</li> </ul>

機能名	説明	
<p>いらっしゃいまセンサ (いらっしゃいまセンサ A、 いらっしゃいまセンサ B)</p> <p>機能種別 No.:40 付加情報 1: いらっしゃいまセンサグループ 1:いらっしゃいまセンサ A 2:いらっしゃいまセンサ B 付加情報 2:なし</p>	<p>機能概要</p>	<p>いらっしゃいまセンサ機能とは、人感センサ付き多機能電話機に搭載されている「人感センサ」が感知すると、あらかじめ指定されたグループの電話機からガイダンスを流すことができる機能です。例えば、受付の電話機で来客を迎えるときなどに利用します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; background-color: #ccc;">工事設定</p> <p>この機能を利用するには、あらかじめいらっしゃいまセンサグループの設定が必要です(工事設定)。販売店にご相談ください。</p> </div> <p>オートダイヤルに登録されているいらっしゃいまセンサグループ(A または B)の「いらっしゃいまセンサモード」を切り替えます。</p>
	<p>設定対象</p>	<p>オートダイヤルに登録されているいらっしゃいまセンサグループ(A または B)の「いらっしゃいまセンサモード」を切り替えます。</p>
	<p>操作</p>	<p style="text-align: center;">トグルスイッチ</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>いらっしゃいまセンサモードの設定 / 解除をトグルスイッチで切り替えます。</p>
	<p>参照先</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『取扱説明書 (セーフティ機能編)』 - 「第 2 章 いらっしゃいまセンサ機能編」</li> </ul>
<p>警戒 (警戒 A、警戒 B)</p> <p>機能種別 No.:41 付加情報 1: セーフティグループ 1:警戒 A 2:警戒 B 付加情報 2:なし</p>	<p>機能概要</p>	<p>警戒(セーフティ)機能とは、人感センサ付き多機能電話機に搭載されている「人感センサ」が侵入を感知すると、あらかじめ指定されたグループの電話機から音とランプによる威嚇を行うことができる機能です。</p> <p>警戒ボタンでは、セーフティモードのオン / オフ(設定 / 解除)を行います。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; background-color: #ccc;">工事設定</p> <p>この機能を利用するには、あらかじめセーフティグループおよび警報鳴動グループの電話機指定が必要です(工事設定)。販売店にご相談ください。</p> </div>
	<p>設定対象</p>	<p>オートダイヤルに登録されているセーフティグループ(A または B)の「セーフティモード」を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セーフティグループ内で電話機が使用中、または外線が使用中の場合は、セーフティモードを切り替えられません。</li> </ul>
	<p>操作</p>	<p style="text-align: center;">トグルスイッチ</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>セーフティモードの設定 / 解除をトグルスイッチで切り替えます。</p>
	<p>操作</p>	<p>＜セーフティモードを解除するとき＞</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #ccc;">ページ 192.168.1.200 の記述:</p> <p>セーフティモード解除暗証番号を入力してください。</p> <p style="text-align: center;">1234</p> <p style="text-align: center;">キャンセル    OK</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #ccc;">ページ 192.168.1.200 の記述:</p> <p>セーフティモード解除暗証番号を入力してください。</p> <p style="text-align: center;">1234</p> <p style="text-align: center;">キャンセル    OK</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>暗証番号(セーフティモード解除番号)入力のポップアップが表示されます。設定されている 4 桁の数字(0000 ~ 9999)を入力し、[OK] ボタンをタップします(お買い上げ時は「1234」です)。</li> <li>セーフティモード解除番号(暗証番号)は、電話機のサービスメニューで設定します。</li> </ul>
	<p>参照先</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『取扱説明書 (セーフティ機能編)』 - 「第 1 章 セーフティ機能編」</li> </ul>

機能名	説明	
サイレント  機能種別 No.:47 付加情報なし	機能概要	サイレント(外線着信鳴動拒否)機能とは、外線からの一般着信時の着信音を一時的に鳴らさないようにすることができる機能です。
	設定対象	ログインした内線電話機の「サイレントモード」を切り替えます。
	操作	トグルスイッチ  サイレントモードのオン/オフ(設定/解除)をトグルスイッチで切り替えます。
	参照先	<ul style="list-style-type: none"> <li>『取扱説明書(多機能電話機編)』 - 「4-1 便利な機能を使いこなす」 - 「回線の使用を一時的に制限する」 - 「外線の着信音を一時的に鳴らさない(外線着信鳴動拒否)」</li> </ul>
子機サイレント  機能種別 No.:48 付加情報なし	機能概要	子機サイレント(外線着信鳴動拒否)機能とは、外線からの一般着信時の子機の着信音を一時的に鳴らさないようにすることができる機能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>カールコードレス電話機(CL)(子機)とコードレス電話機(WSd)(子機)のみの機能です。</li> </ul>
	設定対象	ログインした内線電話機の「子機サイレントモード」を切り替えます。
	操作	トグルスイッチ  子機サイレントモードのオン/オフ(設定/解除)をトグルスイッチで切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>子機サイレントモードでは、話中着信音も鳴動しなくなります。</li> </ul>
	参照先	<ul style="list-style-type: none"> <li>『取扱説明書(多機能電話機編)』 - 「第6章 コードレスセット編」 - 「6-3 電話機の調節」 - 「便利な機能を設定する」 - 「子機サイレントを設定する」</li> </ul>
集中着信  機能種別 No.:55 付加情報なし	機能概要	集中着信機能とは、同一テナントグループ内のすべての一般系着信を1台の内線に着信させることができる機能です。例えば、フロア内に人がいない時間(夜間など)に、守衛所などで集中的に着信を受けるときなどに利用します。
	設定対象	ログインした内線電話機の「集中着信モード」を切り替えます。
	操作	トグルスイッチ  集中着信モードの ON/OFF をトグルスイッチで切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>集中着信モードが設定されていても、本来の着信先の電話は鳴動します。</li> </ul>
	参照先	<ul style="list-style-type: none"> <li>『取扱説明書(多機能電話機編)』 - 「3-8 便利な機能設定」 - 「1台の電話機に着信させる(集中着信)」</li> </ul>

機能名	説明	
DGL 呼数制限  機能種別 No.:59 付加情報 1: DGL グループ番号: 00 ~ 99/000 ~ 254 付加情報 2:なし	機能概要	DGL 呼数制限機能とは、DGL グループの着信呼数を制限し、制限を超えたときには着信させないようにすることができる機能です。例えば、休日は出勤している人数(対応できる人数)が少ないため、着信できる数を制限したい場合などに利用します。
	設定対象	オートダイヤルに登録されている DGL グループの「DGL 呼数制限モード」を切り替えます。
	操作	トグルスイッチ  DGL 着信呼数制限の ON/OFF をトグルスイッチで切り替えます。 ● 制限時の着信呼数の変更は、電話機の機能特番で行います。
	参照先	● 『取扱説明書 (多機能電話機編)』 - 「4-1 便利な機能を使いこなす」 - 「回線の使用を一時的に制限する」- 「DGL グループ電話機への着信呼数を制限する (DGL 呼数制限)」

## 3-2 各種機能を設定する

管理

ここでは、スマートフォンリモコンで設定できる以下の2つの機能の使いかたについて説明します。

- 留守番設定 (➡ P.19)  
留守番モード時の各種ガイダンスを設定 / 変更します。
- 外線自動転送の設定 (外線転送) (➡ P.25)  
外線自動転送モード時の転送先の電話番号や転送動作を設定 / 変更します。

### MEMO

工事が設定作業を行っている間は、スマートフォンリモコンからの設定はできません。

## 留守番設定

管理

留守番モード中に相手に流すガイダンスを設定 / 変更します(テナントごと)。

### MEMO

- スマートフォンリモコンでは、留守番タイマ連動により留守番に切り替えられたときの動作は設定できません。また、スマートフォンリモコンで設定できるのは、手動で留守番に切り替えたときの動作(手動切替設定)の一部のみです。それ以外の設定(留守番グループごとの動作など)については、システム管理電話機のサービスメニューまたは Web 設定から行ってください。
- システム管理電話機のサービスメニューまたは **Web 設定**(管理ユーザ)の操作については、『取扱説明書(多機能電話機編)』または『取扱説明書(Web 設定編)』を参照してください。
- 留守番の動作は、テナントごとに設定します。スマートフォンリモコンで動作を設定するときは、システム管理電話機の内線番号でログインしてください。ログイン後の「留守番設定」画面でテナントを選択して値を設定します。

### 留守番機能のガイダンスを設定 / 変更する

留守番モード中に電話がかかってきたとき相手に流す「応答ガイダンス」「応答専用ガイダンス」を選択します。また、留守番モード中、相手がメッセージを録音しているとき、録音時間の制限で切断する際に、相手に流す「終了ガイダンス」を選択します。

- 1 スマートフォンリモコンを起動します。  
参照「2-1 スマートフォンリモコンの起動と終了」(➡ P.3)
- 2 メニュー画面で[留守番設定]をタップします。



つづく➡

[留守番設定]画面が表示され、ログインした内線が所属するテナントの設定内容が表示されます。



### 3 ガイダンスを設定 / 変更するテナントを選択します。

[テナント]の下の項目をタップすると、テナント(番号)一覧がポップアップ表示されます。ガイダンスを設定 / 変更するテナントをタップして選択します。

- テナント名が登録されている場合は、テナント番号の右側にテナント名称が表示されます。



#### 工事設定

設定されているテナント(番号)については、販売店にご確認ください。

## 4

## 画面に表示された[切替] ボタンをタップします。

[切替] をタップすると、選択したテナントに設定されている留守番設定が画面に表示されます。



## 5

## 変更したいガイドンスパターン(1～3)の各ガイドンスを選択します。

[ガイドンス 1]～[ガイドンス 3] (ガイドンスパターン 1～3)に [応答録音ガイドンス]、[応答専用ガイドンス]、[終了ガイドンス]の各パターンを登録することで、ガイドンスと留守番動作を同時に設定することができます。

- ガイドンスパターンと留守番動作の関係については、「ガイドンスの設定と留守番動作」(➡P.24)を参照してください。

各ガイドンスは、ポップアップ表示される以下のような項目から選択します。



項目	内容
応答録音ガイダンス	<p>ポップアップメニューから応答録音ガイダンスの種類を選択します。 [無し]、[固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号も選択します。 ※ユーザガイダンス名が登録されている場合は、番号の横に名前が表示されます。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p><b>固定ガイダンス 1:</b>ただ今、留守にしています。発信音のあとにメッセージをお話してください。</p> <p><b>固定ガイダンス 2:</b>お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。メッセージを承ります。ピーという発信音のあとに、お名前とご用件をお話してください。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>MEMO</b></p> <p>[無し]を選択した場合、留守番ボタンの動作指定が「設定に従う」(ガイダンス 1)のときは、応答ガイダンスは流れず応答直後に録音開始告知音が「ピー」と鳴ります。留守番ボタンの動作指定が「ユーザ選択方式」のときは、留守番ボタンでのパターン切替時にこのガイダンスはスキップされます(候補として表示されません)。</p> </div>
応答専用ガイダンス	<p>ポップアップメニューから応答専用ガイダンスの種類を選択します。 [無し]、[固定ガイダンス 1]、[固定ガイダンス 2]のほか、[ユーザガイダンス]から選択できます。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号も選択します。 ※ユーザガイダンス名が登録されている場合は、番号の横に名前が表示されます。 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。</p> <p><b>固定ガイダンス 1:</b>ただ今、留守にしています。しばらくしてからおかけ直してください。</p> <p><b>固定ガイダンス 2:</b>お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。後程、お電話いただきますようお願いいたします。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>MEMO</b></p> <p>[無し]を選択した場合、留守番ボタンの動作指定が「設定に従う」(ガイダンス 1)のときは、応答ガイダンスは流れません。留守番ボタンの動作指定が「ユーザ選択方式」のときは、留守番ボタンでのパターン切替時にこのガイダンスはスキップされます(候補として表示されません)。</p> </div>
終了ガイダンス	<p>ポップアップメニューから、最大録音時間を超えた状態で留守番タイマが起動したときに、「ピーピー」のお知らせ音のあとに流す終了ガイダンスを選択します。 [ユーザガイダンス]を選択した場合、ユーザガイダンス番号も選択します。 ※ユーザガイダンス名が登録されている場合は、番号の横に名前が表示されます。</p> <p><b>無し:</b>「ピーピー」のお知らせ音のみ流します。 <b>固定ガイダンス:</b>「ピーピー」のお知らせ音のあとに「制限時間になりましたので、録音を終了します。」のガイダンスを流します。</p>

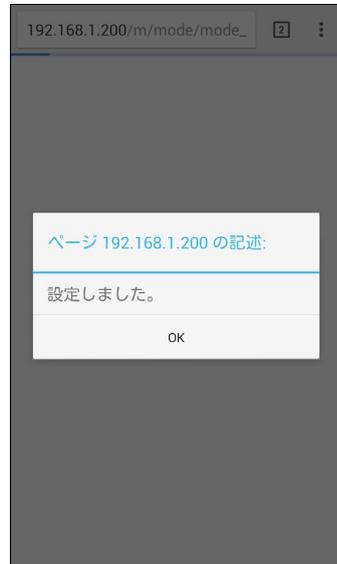
**MEMO**

- ユーザガイダンスを選択する場合は、事前にユーザガイダンスを録音しておいてください。録音されていないユーザガイダンス番号は表示されません(1 つもユーザガイダンスが録音されていない場合は番号は表示されません)。
- ユーザガイダンスは、内線電話機のサービスメニューを使って録音できます。『取扱説明書(多機能電話機編)』-「4-7 主装置の設定」-「主装置の各種設定について」-「代行や留守番の応答ガイダンスを録音する(ユーザガイダンス録音)」を参照してください。

## 6 設定 / 変更したいガイダンスパターンのガイダンスの選択が完了したら、[確定] ボタンをタップします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。

## 7 確認メッセージ (「設定しました」) が表示されたら、[OK] ボタンをタップします。



選択したガイダンスパターンの設定が反映されます。

- 「設定に失敗しました」というメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをタップしたあと、通信状態を確認して、問題がなければもう 1 度、**手順 3** から操作を行ってください。
- 続けて、他のテナントのガイダンスパターンを設定する場合は、再度、**手順 3** から操作してください。

## 8 [戻る] ボタンをタップして、メニュー画面に戻ります。

### MEMO

[ガイダンス 1]～[ガイダンス 3]の設定は、テナント内の全留守番グループに同時に適用されます。留守番グループについては、『取扱説明書(多機能電話機編)』を参照、または販売店にご相談ください。

## ガイダンスの設定と留守番動作

スマートフォンリモコンで設定 / 変更したガイダンスは、手動で留守番モードに切り替えたときに使用されます。

留守番モードの設定 / 解除の切り替えは、スマートフォンリモコンの留守番モード切替スイッチ (または内線電話機に割り付けられたオートダイヤルボタンの [留守番] ボタン) で操作します。

留守番モード時の動作は、切替操作で使用したスイッチ (対応するオートダイヤルボタン) に割り付けられている「留守番動作指定」(設定に従う / ユーザ選択方式) と、ガイダンスの設定により異なります。

### ■「設定に従う」が割り付けられているスイッチ (ボタン) で切り替えた場合：

留守番モード切替スイッチをタップするだけで、留守番モードがオン (設定) またはオフ (解除) に切り替わります (トグルスイッチ)。

留守番モードがオンになると、留守番グループごとに指定された動作に従って、[ガイダンス 1] に指定されたガイダンスが流れるようになります。

この場合は、[ガイダンス 2] と [ガイダンス 3] に指定されたガイダンスは使用されません。

### ■「ユーザ選択方式」が割り付けられているスイッチ (ボタン) で切り替えた場合：

留守番モード切替スイッチをタップすると、選択可能な留守番動作とガイダンスパターンの一覧がポップアップ表示されます。

表示される選択肢は、[ガイダンス 1] ~ [ガイダンス 3] の設定により異なります。

例えば、[ガイダンス 1] の応答録音ガイダンスと応答専用ガイダンスに固定またはユーザガイダンスを設定し、「ガイダンス 2」と「ガイダンス 3」の全ガイダンスに「無し」を設定した場合、ポップアップ画面は以下のようになります。



「ガイダンス 2」と「ガイダンス 3」に固定またはユーザガイダンスを設定した場合は、「留守録 / ガイダンス 2」「留守録 / ガイダンス 3」「お知らせ / ガイダンス 2」「お知らせ / ガイダンス 3」が表示されます。

- 応答録音ガイダンスが設定されている場合は「留守録」、応答専用ガイダンスが設定されている場合には「お知らせ」が表示されます。
- 「留守録 / ガイダンス 1 ~ 3」を選択すると、留守番モード中に電話をかけてきた相手にメッセージを録音してもらうことができます。
- 「お知らせ / ガイダンス 1 ~ 3」を選択すると、電話をかけてきた相手にガイダンスのみを流します。

#### MEMO

- オートダイヤルボタン ([留守番] ボタン) を使用した留守番モードの切替操作については、『取扱説明書 (多機能電話機編)』 - 「第 5 章 ボイスメールの使いかた」 - 「5-3 基本的な使いかた」 - 「留守番機能の設定と使いかた (手動切替)」を参照してください。
- スマートフォンリモコンのモード切替ボタンの操作については、「3-1 各種機能のモードを切り替える」 (▶ P.8) を参照してください。

## ● 外線自動転送の設定（外線転送） 管理

外線自動転送とは、外線から一般着信や DGL/MSA 着信があった場合に自動的に指定した転送先に電話を転送する機能です。外線自動転送モード中の転送先や転送動作などをテナントごとに設定できます。ここでは、以下の 2 つの操作について説明します。

- 転送先情報を登録する（相手先情報設定）（⇒ P.25）
- 外線自動転送モード 1 ～ 4 を登録する（転送先設定）（⇒ P.30）

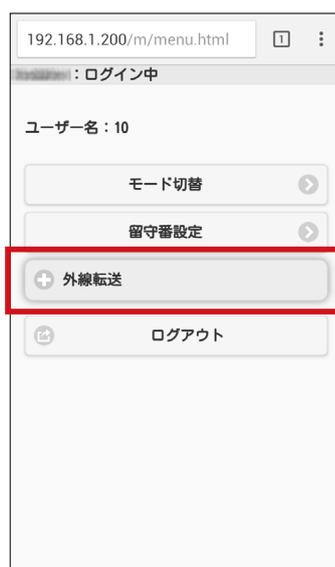
### MEMO

- 外線自動転送モード（1 ～ 4）の ON/OFF の切り替えは電話機のオートダイヤルボタン、スマートフォンリモコンのモード切替ボタンで切り替えられます。スマートフォンリモコンでの操作については、「3-1 各種機能のモードを切り替える」（⇒ P.8）を参照してください。
- 以下の設定は、スマートフォンリモコンではできません。システム管理電話機のサービスメニューまたは **Web 設定** で操作してください。
  - ・ 外線転送起動時間（外線着信があったときの転送開始時間）
  - ・ 転送中着信鳴動の設定（転送先と着信先を同時に呼び出すかどうか）
  - ・ タイマ連動設定（曜日と時間帯ごとに外線自動転送モードを自動的に切り替える）
- システム管理電話機のサービスメニュー、**Web 設定** の操作については、それぞれ『取扱説明書（多機能電話機編）』、『取扱説明書（Web 設定編）』を参照してください。
- 外線自動転送の動作は、テナントごとに設定します。スマートフォンリモコンで動作を設定するときは、システム管理電話機の内線番号でログインしてください。ログイン後の「相手先情報設定」画面および「転送先設定」画面でテナントを選択して値を設定します。

### 転送先情報を登録する（相手先情報設定）

外線自動転送の転送先の電話番号（相手先情報）を登録します。最大 8 件まで登録できます。

- 1 スマートフォンリモコンを起動します。  
参照「2-1 スマートフォンリモコンの起動と終了」（⇒ P.3）
- 2 メニュー画面で [外線転送] の [ + ] をタップして、アコーディオンメニューを開きます。



### 3 [相手先情報設定] をタップします。



[相手先情報設定] 画面が表示され、ログインした内線が所属するテナントの設定内容が表示されます。



## 4 転送先（相手先）情報を設定するテナントを選択します。

[テナント]の下の項目をタップすると、テナント(番号)一覧がポップアップ表示されます。相手先情報を設定するテナントをタップして選択します。

- テナント名が登録されている場合は、テナント番号の右側にテナント名称が表示されます。



### 工事設定

設定されているテナント(番号)については、販売店にご確認ください。

## 5 画面に表示された [切替] ボタンをタップします。

[切替] をタップすると、選択したテナントに設定されている転送先(相手先)情報が画面に表示されます。



## 6 転送先(相手先)情報を設定します。

[相手先 1]～[相手先 8]の相手先情報を順に設定します。  
まず、[相手先 1]の[相手先番号]に電話番号を入力します。

- 電話番号には、最大 32 桁まで登録できます。
- 電話番号には、半角の 0～9、\*、#、特殊コード(-:オートポーズ、P:PB 切替)が入力できます。



次に、[相手先 1]の番号種別のボタンをタップして、ポップアップ表示された項目(以下の項目)から選択します。各項目を選択したときの転送動作はそれぞれ、以下のとおりです。

**外線:** 回線を指定せず、使用できるいずれかの外線で転送します。

**特番展開:** 入力した閉番号により専用線で転送します。

### 工事設定

[特番展開]は[相手先番号]として閉番号を利用する場合に選択します。閉番号の設定については、販売店にご確認ください。

**PBX:** 主装置に接続されている構内交換機(PBX)を經由して外線へ転送します。

**方路指定:** 方路(回線の束)を指定して転送します。この場合、方路番号も入力します。

### 工事設定

設定されている方路番号については、販売店にご確認ください。



必要に応じて、[相手先 2]～[相手先 8]の相手先情報を設定します。

## 7 必要な転送先（相手先）情報の設定が完了したら、[確定] ボタンをタップします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。

## 8 確認メッセージ（「設定しました」）が表示されたら、[OK] ボタンをタップします。



外線自動転送の転送先（相手先）情報が登録されます。

- 「設定に失敗しました」というメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをタップしたあと、通信状態を確認して、問題がなければもう 1 度、**手順 4** から操作を行ってください。
- 続けて、他のテナントの転送先（相手先）情報を設定する場合は、再度、**手順 4** から操作してください。

## 9 [戻る] ボタンをタップして、メニュー画面に戻ります。

## 外線自動転送モード 1 ~ 4 を登録する (転送先設定)

外線自動転送の 4 種類の転送モードパターン ([モード 1] ~ [モード 4]) を登録します。  
各転送モードパターン (外線自動転送モード 1 ~ 4) には、外線転送回線グループ A ~ D の外線自動転送の転送動作の組み合わせを登録します。

### 1 スマートフォンリモコンを起動します。

参照)「2-1 スマートフォンリモコンの起動と終了」(→ P.3)

### 2 メニュー画面で [外線転送] の [+] をタップして、アコーディオンメニューを開きます。



### 3 [転送先設定] をタップします。



[転送先設定] 画面が表示され、ログインした内線が所属するテナントの設定内容が表示されます。





## 4 転送モードを登録するテナント(番号)を選択します。

[テナント]の下項目をタップすると、テナント(番号)一覧がポップアップ表示されます。登録先のテナントをタップして選択します。

- テナント名が登録されている場合は、テナント番号の右側にテナント名称が表示されます。



### 工事設定

設定されているテナント(番号)については、販売店にご確認ください。

## 5 画面に表示された[切替]ボタンをタップします。

[切替]をタップすると、選択したテナントに設定されている情報が画面に表示されます。



## 6 [モード選択]から登録したい転送モードパターンを選択します。

[モード1]～[モード4]のいずれかをタップして選択すると、選択した転送モード(モードパターン)に設定されている情報が画面に表示されます。



## 7 選択した転送モードパターンのグループA(外線転送回線グループA)の転送動作を指定します。

まず、転送種別を指定します。

[グループA]の[転送種別]で、以下のいずれかをタップして、転送種別を選択します。各転送種別を選択したときの転送動作はそれぞれ、以下のとおりです。

- **転送無し**：転送を行いません。
- **通常**：[相手先1]で選択した相手先に転送します。
- **順次**：[相手先1]で選択した相手先に転送を試み、相手先が話中または無応答転送モードの場合、[相手先2]で選択した相手先に転送します。
- **同時**：[相手先1]と[相手先2]で選択した相手先に同時に転送します。



[順次] または [同時] を選択した場合は、[相手先 2] も選択可能状態になります。



次に、転送先電話番号を選択します。

[グループ A] の [相手先 1] または [相手先 2] をタップして、ポップアップメニューから転送先電話番号を選択します。

- ポップアップメニューには、[相手先情報設定] 画面で登録した相手先電話番号が表示されます（「転送先情報を登録する（相手先情報設定）」（➡ P.25）を参照）。
- [相手先 2] の相手先電話番号は、[転送種別] で [順次] または [同時] を選択した場合のみ選択します。



## 8 (テナント内の回線が外線転送回線グループにグループ分けされている場合) 必要に応じて、グループ B ~ D (外線転送回線グループ B ~ D) の転送動作を指定します。

[より細かい設定 ▼] ボタンをタップすると、[グループ B] ~ [グループ D] の設定領域が表示されます。必要なグループに対して、手順 7 の操作を行います。

### 工事設定

外線転送回線グループのグループ分けについては、販売店にご確認ください。

**9** 必要に応じて、手順 6～8 を繰り返し、各転送モードパターンの転送動作を指定します。

**10** 必要な転送モードパターンの転送動作の指定が完了したら、[確定] ボタンをタップします。

- 入力した設定内容を変更したい場合は、再度、入力しなおしてください。

**11** 確認メッセージ（「設定しました」）が表示されたら、[OK] ボタンをタップします。



選択したテナントに、指定した転送モードパターンが登録されます。

- 「設定に失敗しました」というメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをタップしたあと、通信状態を確認して、問題がなければもう 1 度、手順 4 から操作を行ってください。
- 続けて、他のテナントの転送設定を登録する場合は、再度、手順 4 から操作します。

**12** [戻る] ボタンをタップして、メニュー画面に戻ります。

# 索引

## D

DGL 呼数制限 ..... 18

## あ

相手先情報設定 ..... 25  
アコーディオンメニュー ..... 6, 25, 30

## い

一般ユーザ ..... 7  
いらっしゃいまセンサ ..... 16

## お

応答専用ガイダンス ..... 22  
応答録音ガイダンス ..... 22  
オートダイヤルボタン ..... 8, 9, 12

## か

外線自動転送の相手先情報を登録する ..... 25  
外線自動転送の設定 ..... 25  
相手先情報設定 ..... 25  
転送先設定 ..... 30  
外線自動転送の転送モードパターンを登録する ..... 30  
外線転送 ..... 15, 25  
ガイダンスの設定と留守番動作 ..... 24  
各部の名称と使いかた ..... 6  
管理ユーザ ..... 7

## き

起動(スマートフォンリモコン) ..... 3  
[切替] ボタン ..... 21, 27, 32

## く

クラス切替 ..... 13

## け

警戒 ..... 16

## こ

子機サイレント ..... 17  
固定ガイダンス ..... 22

## さ

サイレント ..... 17

## し

集中着信 ..... 17  
終了ガイダンス(留守番機能) ..... 22  
終了(スマートフォンリモコン) ..... 5  
順次(転送種別) ..... 32

## す

スマートフォンリモコンでできる操作 ..... 2  
スマートフォンリモコンでモード切替できる機能 .....  
..... 8, 12  
スマートフォンリモコンの起動(ログイン) ..... 3  
スマートフォンリモコンのしくみ ..... 1  
スマートフォンリモコンの終了(ログアウト) ..... 5

## せ

設定に従う(留守番動作指定) ..... 24

## ち

着信拒否切替 ..... 14

## つ

通常(転送種別) ..... 32

## て

転送先設定(外線転送) ..... 30  
転送無し(転送種別) ..... 32

## と

動作環境 ..... 2  
同時(転送種別) ..... 32  
トグルスイッチ ..... 10

## ふ

不在 ..... 14  
プルダウンボタン ..... 6, 10

## へ

ヘルプボタン ..... 6

## ほ

ポップアップメニュー ..... 10

## も

モード切替	8
モード選択(転送モードパターン)	32
モードを切り替える	9

## や

夜間切替	12
------	----

## ゆ

ユーザアイコン	7
ユーザガイダンス	22
ユーザ種別と利用できる機能	7
ユーザ選択方式(留守番動作指定)	24

## る

留守番	13, 19
留守番機能のガイダンスを設定 / 変更する	19
留守番動作指定	24

## ろ

<input type="checkbox"/> グアウト	5
<input type="checkbox"/> グイン	3
<input type="checkbox"/> グイン情報	4





リチウムイオン電池の  
リサイクルに  
ご協力ください

この装置は、クラス A 情報技術装置です。  
この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、外国為替及び外国貿易法で定める規制対象貨物・技術に該当する製品です。  
この製品を輸出する場合または国外に持ち出す場合は、日本国政府の輸出許可が必要です。

This product designed for use in Japan is a strategic product regulated under the Japanese Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission from the Japanese Government.

**便利メモ** (おぼえのため、記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品番	
販 売 店 名		電話 ( )	-
お 近 く の 販 売 会 社		電話 ( )	-

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

**パナソニック システムネットワークス株式会社**  
システムソリューションズジャパンカンパニー

1327BT 173-1 D

4438077200